

ゴマフカミキリ

「この虫なー」と田山さんに問われました。小型のカミキリ虫でとっさにサビカミキリか？と見えたのですが、帰宅して確認しゴマフカミキリと同定しました。全身樹皮に対しての保護模様、大きさも15mm程度でなかなか目にとまりませんが、澄川基地ではポピュラーな存在なのです。この虫も木材であればなんでも来いで、あまり偏食しないようなので、澄川基地まわりの住虫にちがいはありません。分布は日本全土、まだまだ他にいろいろなカミキリ達があらわれてくれることが期待されます。



2012年10月10日、気温も秋らしくなって基地まわりにはナラタケ(ポリポリ)が大発生して各自収穫したようですが、こんな時期までゴマフカミキリがいたことを記録しておきます。出現するのも早くて5月頃のようなので、結構長い期間活動していることになります。

10月7日には今年最大の行事である10周年記念セレモニーを澄川基地で行ったにつづいてこの日は札幌工科専門学校の森林実習を指導しました。ほぼ10年続けている行事ですが、学生ですから毎回入れ替わりがあります。孫世代の若者相手なのでこちらも若返った気持ちになれるのが嬉しいことです。

